# 【遊水地現地見学】福島県議会土木委員会（令和8年3月13日）

〇福島県議会土木委員会の委員会調査において、阿武隈川上流遊水地群の整備状況等について調査するため、
阿武隈川上流遊水地群の整備予定地を案内するとともに、遊水地内への流入タイミングや、整備後の利活用などについて意見交換を実施。

➢日　時：令和8年3月13日（金）９：３０～１０：３０
➢会　場：阿武隈川上流遊水地群
➢参加者：福島県議会土木委員会委員　９名、福島県職員　４名
➢内　容：概要説明：福島河川国道事務所　流域治水課　課長　明田　想平
現地説明：福島河川国道事務所　阿武隈川上流緊急治水対策出張所　所長　小川　秀稔

＜参加者からの質問＞
・遊水地内へはどのようにして阿武隈川の水を流入させるのか。
→堤防の高さを一部低くした「越流堤」により、遊水地内へ自然越流させる。
・遊水地内で営農した場合、浸水による補償はあるのか。
→地役権方式と違い、本遊水地は全面買収方式となるため、底地は国の土地となることから補償という考え方はない。
・遊水地内の平時の利活用として、全国的な例はどのようなものがあるのか。
→公園やグラウンドとしての利活用がある。
地域特性に応じた利活用が重要と認識しており、浜尾遊水地や阿武隈上流遊水地群においては、民間活用も視野に入れ、
地域のメリットとなるように地域と調整していく。


▲委員長挨拶（山口 信雄 県議会議員）


▲阿武隈川上流緊急治水対策プロジェクト概要説明


▲現地調査